

令和2年度
第2回岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 令和2年12月17日(木) 午後3時～午後5時
- 2 場 所 ほっとプラザ大供3階 第3研修室
- 3 出席委員 高田委員長、濱西副委員長、貝原委員、栢野委員、岸委員、杉本委員、
中塚委員、藤田委員、松井委員、光岡委員
- 4 出席職員 亀井市民協働局市民協働局長
(女性が輝くまちづくり推進課) 安東課長、藤原館長、河本課長補佐、奥野参事監
神崎主査、森本主事
(危機管理室) 岡村担当課長、石川主事
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 事
 - (1) 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用審査について
 - (2) 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第3項の運用基準適用について
(報告)
 - (3) 「第4次さんかくプラン」年次報告(令和2年度)(案)について
 - (4) 男女共同参画に関する市民意識・実態調査 結果報告書について
 - (5) その他
- 7 配付資料
 - 資料 1-1 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用に係る審査票
 - 1-2 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用に係る審査票
(第19条第3項運用基準適用)【岡山市防災会議】
 - 資料 2-1 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用に係る審査票
(第19条第3項運用基準適用)【介護認定審査会】(R2年5月29日審査)
 - 2-2 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用に係る審査票
(第19条第3項運用基準適用)【介護認定審査会】(R2年6月30日審査)補足資料(資料2関連)
 - 資料 3 「第4次さんかくプラン」年次報告書(令和2年度)(案)
 - 資料 4 男女共同参画に関する市民意識・実態調査 結果報告書

8 会議の状況

議事1 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用審査について

資料1-1、1-2により、「岡山市防災会議」について、事務局から説明。

- 危機管理課 岡村課長から説明
 - ・防災会議の委員は充て職が多く女性委員の選任が難しい中、各所属団体に再度依頼したが、現在40%を切っている。今年度2月に防災会議の開催を予定しており、定員に1名の余裕があることから、40%を確保できるように、市の職員から女性委員1名の増員を考えているところである。
- 主な意見
 - ・今年度実施した市民意識・実態調査では、市民の意識として防災体制に男女共同参画の視点が必要だという結果が出ているので、担当課としても努力をしてほしい。
 - ・直接4割の問題ではないが、根本的な問題として、妊婦(お産)・子育て(粉ミルク・おむつ等)などの問題に関して、具体的な意見が出せる人(助産師会など)が委員として入ってほしい。

また、ホルモン療法の注射をしている人や、避難所で心の性でのトイレの使用ができなくて集団生活に困っている人などの問題について、直接会議の中で意見が言えるような団体は入っているのか。メンバーに入っていないにしても、少なくとも直接意見が言える場があるのか。

➡今後、トイレ・着替えなど、声が出しにくいけれど困っている方などに対応できるように、関係団体・関係者の意見を聞きながら、地域防災計画や避難所運営マニュアルの中に盛り込んでいきたいと考えている。

・各団体から委員は1名の選出ということだが、女性が構成メンバーとして多い団体から複数の委員を選出するといった方法はとれないのか。

➡委員の構成などについては、岡山県の防災会議ともバランスを取りながらやっている。1つの団体から複数の委員の選出は難しいところだが、各団体にも相談しながら会の構成等で見直しが可能なものについては検討していきたい。

○ 審査結果

・挙手により、賛成多数でやむを得ない事情があると認める。

議事2 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第3項運用基準適用について（報告）

資料2-1、2-2、「岡山市介護認定審査会」について事務局から説明、正副委員長に承認いただいたことを報告。

○ 主な意見

・相手の団体に任せて待っていたら女性委員はなかなか増えないのではないかと。また、女性が多い団体でもトップしか知らないような団体もあるのではないかと。今後、公募等の方法を検討してほしい。

➡介護の審査判定業務を行う専門知識を要することから公募は難しいのではないかとと思うが、意見は担当課に伝える。

・委員の構成について、色々な立場の人から審査することが必要であるという観点から5人に増やしてほしい。

・区ごとの認定審査会では女性の割合も多い所もあるが、全体では4割に届かないという説明だったが、肩書だけであまり動いていない男性の方がいるのではと思う。今後もこのような状態が続くのであれば、そういう方には外れてもらうという、厳しい態度をこの委員会として示してもよいのではないかと。

・これだけの人数が必要なのか、内容をもっと精査し今後の委員の構成について考えてほしい。

議事3 「第4次さんかくプラン」年次報告書（令和2年度）について

資料3「第4次さんかくプラン」年次報告書（令和2年度）（案）により事務局から説明。

<調査の概要・成果指標の現状値動向一覧>

○ 主な意見

【指標 D・L・T】事業所アンケートの調査対象変更に関して

・今年度、調査対象が変わったことで、小規模な事業所が多く全体的には数値が下がっているが、規模別に比較していくと今までのアンケートとも比較できるのではないかと。

➡もう一度分析したい。

・変化を見ていく必要もあるが、小規模の事業所のデータもほしいので、次回も実施してもらいたいが可能か。

➡来年度も実施したい。

・どこかにサンプルが変わっていることを書いておかないといけないのではないかと。

➡それぞれのところではなく、7ページの次ページに追記を検討する。

<重点目標2 配偶者等からの暴力防止及び被害者支援の推進（DV対策基本計画）>

○ 主な意見

【指標 E】公的相談機関の周知度について

- ・内閣府の調査と比較してみると、DVの認識度や相談をしたことがある人の割合など、全体的に岡山市の方がDVについては意識も含めて広がっていると感じる。
- ・一般的にモラルハラスメントの言葉の具体的な内容の認知が難しいと感じる。何がモラルハラスメントなのかの周知が進むように、アンケートの中にも入れていくことを検討してほしい。
- ・夫婦間のレイプもあって、望まない妊娠から児童虐待にもつながるといった重い問題もあるので広がってほしい。
- ・性暴力については法律もいろいろ検討されているが、自分がサポートしている中で、当事者の話から、なかなか声を上げにくい夫婦間の望まないセックスなどは大きな課題と考えている。
- ・講座・研修会の受講については、オンラインだと一般的には参加者が2～3割増になる。あとで理由がわからなくなるので、例年とは違った部分は説明を書いておいた方がよい。
 - ➡今回の評価は元年度のものなのでコロナの影響はないが、来年度の報告書では説明を加えたい。
- ・オンライン研修は、DVや性暴力などに関しては、特になかなか参加しにくい当事者や男性など多くのプロフィールの方が参加できるので、今後もオンラインでの開催をお願いしたい。

<重点目標3 性と生殖の健康と権利の確保及び生涯を通じた健康支援>

○ 主な意見

【目標 ⑥】市の実施するエイズ・性感染症・性教育に関する出前講座開催数について

【指標 I】「LGBT」という言葉の認知度について

- ・出前講座の数がずっと同じような状態が続いている。学校が授業の中でなかなか時間が取れないと聞いているが、もう少し手を挙げていただけるように啓発をしてほしい。
 - ➡年度末には報告書を各部局にフィードバックしているが、異動のタイミングなどもあるので、担当者が目標数値を意識できるように働きかけていきたい。
- ・LGBTに関しても、SOGIなどの言葉もあるので、ずっとこのままLGBTという言葉を使い続けるのかということも考えてほしい。
- ・市が進めていこうとする取組だけではなくて、受ける側の意見なども幅広く聞いて検討し、解決策を見つけていくような取組が必要だと思う。
 - ➡パートナーシップ宣誓制度は現在6組くらい利用していると思う。当事者の方々にとっては待ち望まれた制度だったのかと思う。LGBTの認知度も上がってきていると思うので、これからも正しい認識を広めていきたいと思う。
- ・「LGBT」という言葉の認知度は、上昇と書いていいのか、有意差がなければ横ばいか。男女で差があるが、全体の数値を見ると横ばいとする方がインパクトがある。

【指標 H】健康診査（健診）の受診率について

- ・男女ともに比較的に高すぎるのではと感じる。がん検診などは5割を切っているというデータがあり、このデータがあっているのか疑問が残るので担当課に確認してほしい。

【指標 G】中学生の性に関する相談の充実度について

- ・中高生などが電話で相談できるのはほんの一部だと思う。親にも言えない自分の性に関する事など、深刻な悩みを持つ人も増えていると感じるので、SNSなどで、若い人が気楽に相談できる、“相談してもいい”という感覚を持てるような事業を広げていくことが必要かと思う。
- ・さんかく岡山ではTwitterもしているという聞いているが、企画の情報発信だけではなくて、若い人達が、気軽にさんかく岡山を知ったりつながったりできるような事業を期待する。

<重点目標6 市と市民等とのパートナーシップによる協働>

○ 主な意見

【指標 P】「さんかく岡山」の事業内容の認知度について

- ・年々認知度が下がってきているのが気になる。かつてはあった喫茶コーナーのように、外部から関係ない人も呼び込めるような工夫があればいいのではないかと思うが、検討してもらえないか。
 - ➡運営ができず、撤退したと聞いている。改修して場所も残っていないので新たには難しい。
- ・今年もとてもいい内容を企画し、事業を実施していると感じる。市民の評価をもとにぜひ続けて

充実をお願いしたい。

【目標 ⑨】「さんかくウイーク」への参加者数

- ・平成29年は参加者数が多いが何かあったのか。また、目標値の3,000人以上の根拠は何か。
 - ➡根拠等は、はっきり分からない。今年度はコロナによってほとんどの事業が中止になった。今まではたくさんの人に集まってもらうということを目的に、保育園児のパレードや書道パフォーマンスなどのオープニングイベントを一日で開催していた。コロナのこともあり、来年度の実施にあたっては、情報発信を工夫したり、一日にたくさんの人に来てもらうのではなく、ウイーク期間中に、まんべんなくさんかく岡山に来ていただけるようにしたいと検討している。

<重点目標7 仕事と生活の調和の推進>

○ 主な意見

【目標 ⑪】保育所等の待機児童数について

- ・目標値は0のままでよいのか。無理ではないかと思うが。
 - ➡今年度、希望児数が増えたということで0は達成できなかったが、第4次プラン策定時の目標としては0を目指して取り組んでおり、担当課からも2年後に0を目指して進めていると聞いている。
- ・岡山市の基準をクリアはしていないが、保護者にとって使いやすいような新しい色々なタイプの保育所が増えている。市が基準を緩やかにして保育所を増やすということは考えていないのか。
 - ➡担当課に確認する。

<重点目標9 政策・方針の決定過程への男女共同参画の促進>

○ 主な意見

【目標 ⑰】市職員の女性管理職割合について

- ・目標が低いと感じる。次のプランでは上げてもらいたい。参考として都道府県・政令市を挙げているが、言い訳になってしまうように見える。
 - ➡現在課長職になるくらいの年代の職員が採用された頃は、女性の採用比率が低かったということで、なかなかすぐには増えていかないと担当課から聞いている。
- ・年代別の職員の男女比などを資料としてつけてもらえると、仕方ない状況かと納得できるかもしれない。また、5年先くらいの目標も示してほしいと思う。
 - ➡目標値については担当局であげていくと聞いているが、年代別の男女比率についても確認したい。

議事4 男女共同参画に関する市民意識・実態調査 結果報告書について

資料4により、事務局から説明。

○ 主な意見

- ・郵送での返信になっているので、ネットと両方で答えられるようにしたら回収数も増えるのではないかと。次回の調査では、ぜひ検討してほしい。
- ・書きづらいかもしれないが、分析と考察のところは、若い世代と高齢者では違ったりするので、理想は年代別に書いてもらえるとありがたいと思う。

議事5 その他

○ 次回開催予定について

- ・次回は、2月下旬に開催予定。後日、日程調整を行いたい。
- ・新型コロナウイルスの状況によっては書面やオンラインでの開催も考えている。